

「市議会」問題について

25時行動委員会は呼びかける

2016年9月24日 25時行動委員会

(連絡先：090-7744-0122 藤岡)

●市民をナメナ！ 市議会議員諸君！

『ミンナ消エロ ヒトリモ残ルナ！！』

ボールは我々市民の側にある。

「刑事告発」だって?? 「徹底解明」だって?? 「市政をよくする」だって??

——冗談じゃないぜ、そうしたいのなら、自分で乗り込んで、自分でやれよ!!

「我が会派はキレイです」だって?? へ～え、

「自民」を追い詰めきれないで、なにぬかす!!

議員としてやってみせてくれ、そこまでさ!!

●市議会議員諸君！市民のみなさん！

『議員の自分の存在意義の自覚はドンドン薄マツチャツテサ、市民の議会の存在への関心がドンドン弱まってるのと、みごとにつりあツチャツテンノサ・・・問題はそこだよ！！！！』

それをぶち壊さなきゃナーンモ始まんない。

議員は小粒になり、小悪に走り、ある市民はフンと小馬鹿にし、ある市民は小改革に浮かれる。小セエ、小セエヨウ。そのつりあってるバランスをヨウ、ヒックリカエソウゼエ!!

●市民のみなさん！

『議会ヲ解体シヨウ！！ ゼロ＝原点に立トウ！！』

自分の生きる空間の自治は市民自身が考える。

今回の「議会問題」を、自治の問題として、自分の〈問い〉としないかぎり、

なんにも変わらない。我々は議会が数年カラでも困りはしないぜ!!

市内各地・各処に『市民評議会』を創ろう!!

我々の地域の自治をゼロからたちあげよう!!

私・たちは、このチラシを見るあなたが、「市議会」を「県議会」・「国会」と読み替えることを、歓迎する!!

ただし、「国会」については、昨年9月、私・たちは「国会解体」の大きなチャンスをつかみきれなかった。そのことを、忘れてはなるまい!!

なお、「富山市議会問題」に対する私・たちの基本的な見解については、『25時通信』特別号をみてほしい。